

『びっくりどうぶつフレンドシップ』(480)
ジェニファー・S. ホランド/著 畑正憲/訳 飛鳥新社



サルとハトが、クロクマと黒猫が、ヘビとハムスターが…。

親を亡くした孤独な者同士。
苦難を乗り越え支え合うために。
信じられない組み合わせの動物が種類を越えて仲良くなった。

『それ行け!! 珍バイク 積載量完全オーバー!?!』(748)
ハンス・ケンプ/著 三角和代/訳 グラフィック社



見て下さい。このたくましさ!
こんなものバイクに積めるの?
こんなに積めるの?
積み方がまた、なんとも芸術的。
ページをめくるごとに驚きの連続です。

yondoco

中学校・高校版 第17号 2015.07発行
図書館おすすめの本 ()内は、分類です。

『光圀伝』
(ウブ) 沖方丁/著 角川書店



なぜ、あの男を自らの手で殺めることになったのか…。
黄門様で有名な水戸光圀。
彼が子龍とよばれていた少年の頃から、隠居して黄門様とよばれる晩年までの炎のような生き様—。
まったく新しい“水戸黄門”像を描く。

利用案内

- ◆大和郡山市に在住・在学・在勤の方は、利用者カードを作ることができます。
- ◆8冊まで、2週間借りられます。
- ◆貸出中の本の予約、所蔵していない本のリクエストができます。
- ◆司書が調べ物のアシストをします。探している本が見つからないときは、お気軽にお尋ねください。

図書館のホームページから本の予約・延長ができます

- ◇パスワードを登録→ 貸出中の本の予約
貸出本の延長(予約が入っている場合は不可)
- ◇メールアドレスを登録→予約本の取置きをメールでお知らせ

【PC】 <https://www.yamatokoriyama-library.jp/>
【携帯】 <https://www.yamatokoriyama-library.jp/toshoi/>



※「libraryyk@yamatokoriyama-library.jp」が受信できるよう受信設定をご確認下さい

【開館時間】

土曜日 9:30~21:00 土曜日以外 9:30~19:00

【休館日】

毎週火曜日、第1・第3水曜日(祝日にあたる場合は翌日休館)
年末年始 特別整理期間

【大和郡山市立図書館】

大和郡山市北郡山町211-3 やまと郡山城ホール内
TEL:0743-55-6600

『目に見えないもの』(104)
星の王子さまと10人の探究者たち/著 講談社



「大切なことは、目に見えない—。」

科学者、統計家、落語家、芸術家、宗教家など各界を代表する10人の探求者が、それぞれの角度から違う切り口で、「時間」「ゼロ」「運」「ユーモア」「うそ」「記憶」「愛」などのテーマで星の王子さまと語り合います。

『外国人が教えてくれた! 私が感動したニッポンの文化』①~③ (36)
ロバート キャンベル/監修 日本図書センター

私たちにとっては、あたりまえ。
でも外国人の目から見ると、こんなにニッポンは面白い!
力士、ラーメン店主、囲碁棋士、マンガ翻訳家…。
日本の文化を自分の仕事にした外国人の目を通して、日本のよさを再確認してみよう。

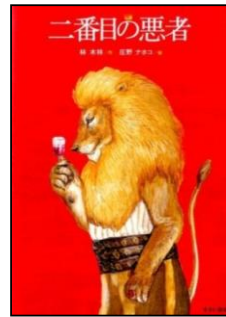




『トオリヌケケンシ』(カノ)
加納朋子/著 文藝春秋

通学路の途中にある細い路地の入り口に「トオリヌケケンシ」と書いた札がある。
ある日「じゃあ通りぬけてやろうじゃん」という気になって入ったおれがその先で見つけたものは…。
未来のおれを救う大切な“出口”だった。

短編の名手が贈る6つの物語。



『二番目の悪者』(726)
林木林/作 庄野ナホコ/絵
小さい書房

うわさ、メール。
嘘が「本当のこと」として知れ渡る。

『嘘は、向こうから巧妙にやってくるが、真実は、自らさがし求めなければ見つけれない』



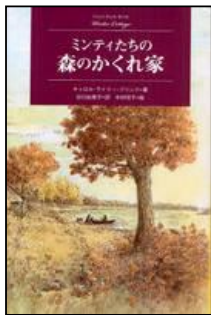
『ヒト ニ ツイテ』(Eヒ)
五味太郎/作 絵本塾出版

宇宙人を見つけた“人”
ヒト ハ ミル
ヒト ハ カンガエル
人は宇宙人を捕まえて、飼いはじめます。
が、ヒト ハ…
コミカルだけど人について考えさせられる絵本。



『今夜、流れ星を見るために』(447)
星空さんぼ編集部/編 誠文堂新光社

星空に突然現れる一筋の光。
流れ星が流れるかどうかは運次第。
どうすれば見る確率をあげることができるのでしょうか。
特別な道具を使わなくても見ることができる天体ショーを楽しんでみませんか？



『ミンティたちの森のかくれ家』(Nブリ)
キャロル・ライリー・プリंक/著
谷口由美子/訳 中村悦子/絵 文溪堂

町に失業者があふれているそんな時代。
ミンティたちは、何をやってもうまくいかないパパと、おばさんの家へ向かう。でもその途中、車が故障した森の中で、一軒の別荘を見つけて、こっそりかくれ住んでしまうことに…。



『世界一空が美しい大陸 南極の凶鑑』(402)
武田康男/文・写真 草思社

オーロラ・朝焼け・夕焼け・蜃気楼・グリーンフラッシュ・星空…。
なかなか簡単には行くことのできない未知なる場所、南極大陸の自然を科学的な解説とともに美しい写真で紹介。



『遠い日の呼び声』(Nウエ)
ロバート・ウェストール/作 野沢佳織/訳
徳間書店

なんとなく就職し、成り行きで結婚したジラ。うつつと過ごしていたが、本当にやりたいことに出会い夢中に。結果、夫とも両親とも離れて…。身勝手でも懸命にタイプライターに向う姿に応援したくなる「ヘンリー・マールバラ」ほか、短編集。



『3年7組食物調理科』(スト)
須藤靖貴/著 講談社

県立新居山総合技術高校食物調理科(通称 ショクチョウ)のぼくたちは、料理のエキスパートをめざして奮闘中。
怒るとコワイ小梅先生のもと、数々の失敗や白熱議論を経て、生み出されたメニューはどれもこれもとびきり美味しそう。



『ヤモリの指から不思議なテープ』(50)
松田素子・江口絵理/文 西澤真樹子/絵
石田秀輝/監修 アリス館

ヤモリはなぜ、カベを歩きまわれるのか？
発明や開発のヒントとなった生き物や植物の特徴を紹介し、そこからどのように私たちの暮らしを便利にする商品が作り出されたのか、イラスト付きで楽しく解説していきます。



『かわいい仏像 たのしい地獄絵』(718)
須藤弘敏・矢島新/執筆
パイインターナショナル

お墨付きが与えられたものではなく、不恰好で、ときに粗雑とも見え、かわいくもある仏像と、地獄絵。
恐怖を教えるというより、怖いもの見たさの小さなアミューズメントパークのような効果があったに違いない…。



『まんがキッチン』(B596.6) 文藝春秋
『まんがキッチンおかわり』(596.6)
福田里香/著 太田出版

名作まんがを独自の「フード理論」でお菓子研究家が読み解きます。
まんがキッチンおかわりの『進撃の巨人』では、104期訓練生に捧げる“蒸かした芋”風スイーツポテト、『関根くんの恋』のもつれた毛糸玉のモンブラン。
『宝石の国』では薄荷味のフォスフォフィライトの欠片…など、どれも食べてみたいくなります。



『文学少年と運命の書』(ワタ)
渡辺仙州/作 ポプラ社

呉承恩は本の虫。ある旅の途中で小汚い少女、玉策を拾う。この玉策、書を読むとむしゃむしゃと食べるばかりでなく、運命を書き換えることができるらしい。かくして、時の権力者たちが玉策を狙いに来る。呉承恩は玉策を守りきれぬのか？
中国ファンタジー。